

できた？はい
じゃあ早速採点
してみるわね

うん…うん…すごい！
かなり正解率
上がってきたよ！

や
やつ
たつ

作画

あちゅむち

よくできました
馨くん

最近すごく
頑張ってるね！

×ガネが似合う
巨乳家庭教師の
裏の號は:
調教大好き
牝豚マイン!

家庭教師の 秘密な報酬

かていきょうしのひみつなほうしゅう





あ お父様!

おい 勝手に
入ってくるなよ親父...

ああ...
ノックはしたんだが...

...勉強はしっかり
やってるようだな
流石七瀬先生だ

いえ そんな
馨くんが頑張ってる
だけですから

それはなににより
いい大学に
入ってくれよ

そうだ
七瀬先生はこれから
何か用事はあるのかな?

まあまあ馨くんっ
お父さんなんだし...

いえ 特には...

そうか
いつの間にか外が
まるで嵐のようだね

一人で帰らせるのは
少し心配だうちに
泊まっていきなさい

え? でもそれは
ご迷惑では...

そんなことないよ!

危ないしここに
泊まっていきなよ!
ね?

それもそうね...

じゃあ お言葉に
甘えさせてもらいます

いやいや
いつも世話に
なっているのは
こっちだ
それじゃあ
家政婦にも
そう伝えておくよ



ニヤッ

は

あの…ここに
バジヤマおいておくね
家政婦さんが置いて
いったやつだけど…

ありがとく

は

あ
あの！

うん？ どうかした？

その…なんでもない！
ゆっくりしていつてね！

キュッ

アア

ア

お

お

…



涼子さんのおっぱい…

涼子さんがうちにお泊りか…ぐふふふっ

おおまんこっ

おしり…

すごく綺麗
なんだろっな…
どうやって洗うんだろっ

でも涼子さん
俺にすごく
優しいし…

もしかして
まんざらじゃ
ないのでは…

今までみんな
俺の事を気持ち悪がって
誰も優しく接しては
くれなかった…

あああああ!!

こんな事考えてるのが
バシたら
絶対嫌われる…!

ふうく
さっぱりさっぱり

馨くん起きてる？
私もう寝るね

うっ うんっ

隣の部屋
寝られるように
しておいたから…

ありがとう

それじゃあ
おやすみなさいっ

涼子さん…
やっぱり好きだ…

そっか
涼子さんだって
俺のこと…

馨くん…
大好き…

なぐんて！

それでそれで
こっそり夜這いなんて
されちゃったりして!?

あてもッ涼子さん清楚だし
純粹っぽいからなあ

お俺から
いくかあ…!?

いやいやいやいや!
そんなの無理
だろおおおお!!



本当に七瀬先生には
感謝してもしきれないよ

いえ そんな...

謙遜しなくてもいい

学校では
まともな成績じゃ
なかったんだ

私は自分の仕事を
頑張らせてもらってる
だけですから...

そんなことより...

我が息子ながら
情けない...

そして浪人にも失敗して
ひきこもりときたもんだ

母親が死ぬまでは...
そこまでは
なかったんだがな

ふんっ

ニ…

せつかく
なんですから…

生真面目な
人間だと思ったら…
とんだ雌豚だったみたいだな

今日はいつもよりたくさん
可愛がってください
真司さん

そんなあ…真司さんが
そうしたんじゃないですかあ

…雌豚なのは
否定しませんが

初めてここに派遣
されてきたときは

非常に優秀な
家庭教師と聞いて
純粋な生娘だとばかり
思っていたが

その通りですよ

でも真司さんが
私が真司さんに
一目惚れしたことに
付け込んで

私のこと
めちやくちやに
したんじゃない
ですかあ

そうだったか？

私はただ君の気持ちに
応えただけだ

こんな格好で
抱かれに来るような
淫乱にした覚えはないな

そんなあ

君が生まれながらの
変態だっただけのことだ



まあい い

望み通りしつかり
可愛がつてやる 涼子!

おいおい
大声を出すなよ
髻に聞かれても
いいのか?

こんな嵐では外に
聞こえはせんがな

はあ...はえええっ

誰が倒れていいと
いった!?

ほおおお
おおうっ!!



これはお仕置きが必要だな

窓に手をつくんだ

おほおほお
おおおおお

クリトリスに振動が
ビリビリくるっ

んひやああ
ああああ

ははははっ
酷い乱れようだ

へあああっ!!

おまんこちゅぶしちや
らめえっ!!

だがまだまだ
これからぞ?



oooooooooooooooooooo

あゝ

あゝ

ザッ

んひんっ

これが最近まで
生娘だった身体かあ？

真司さんに
こっそり仕込まれた
雌穴ですう♡

は

あ

フリッ♡

だって…だってえ

あゝ♡
おまんこ おまんこから
びゅ〜びゅ〜
でちゃってるう♡

ふははは！
今度は潮か
忙しいマンコだ

とことん他人のせいに
するのかわ
下衆にも程がある

はま

はいはいいつ

カッ



おいおい…
飯にも私の息子に
ひどい言いよう
じゃないか



ごめんなさい…!



そんなこと
しないで

私の身体は真司さん
だけのもの
なんですからあ!

あんな男に
見られたくも
ない…!



でもでもお
もう私の身体は
真司さんのおちんぼ
奴隷だからあ

真司さんのおちんぼのために
頑張ってお仕事
しちゃうんですう!



...まあいい

そこまで言うなら
くれてやろうじゃないか

ちんぽ...
おちんぽお...!

あああつくくる...
きちゃうっ! 真司さんの
デカチンポが...!

焦るな焦るな
じっくり味あわせてやる

早くつはやくう!
タラタラにとろけた
おまんこにガチガチおちんぽ
つつこんでえっ!

きつ.....
たああああああんっ



しゅごい！
雌豚ガバマンなのに
カリ高ちゃんほで
かきわけられてるううう！

ぬう…
膣中が完全に
蕩けきっている



はいいつ
真司さん 真司さんの
おちんぼ
だいしゅきだからあ！

ずっとおちんぼ
ハメハメしてほしくて
だらしなくおまんこ
蕩けちゃうのお！



だからもっと！
私にもっと
真司さんをくださあい！

きもちいいいつ
おちんぼズボズボしてえ！

あんっ
キスきしゅしゅきいつ
真司さんの舌おいひいつ

おまんこホジホジしまくってえ！

そんなにこれがいいのか!?

いい!
すこくいいのお!

そうか それなら
いくらでも突っ込んでやる

家庭教師として
しっかり仕事をしたらな!

ぐりぐり

♡
♡
♡

はいいい!

真司さんのガチガチおちんぽ
一杯ハメてもらうために
頑張ってお仕事しますううう!!

よし! ご褒美に
おもいつきり
イカせてやる!

んほおっ!

だめっくりゅっ

しゅわいの
きちゃるるるるるる

おちん♡

おちん♡





変態マン「アウメ」
アウメ

アウメ

アウメ

アウメ

アウメ

イク！
アウメ

アウメ

アウメ

アウメ

だが夜はまだまだ
これからだぞ？

はあ…はあ…

ははははっ
盛大にイッたな

あー！

ふああい

アウメ

うん 自信持つて
絶対合格するから

そそうかな

よし ばつちりだね
これならもう
合格間違いないだよ!

……
涼子さん!

合格したら
私の仕事も終わりだね

もしもし合格できたら…
一つ話を聞いて
欲しいんですけど

いいですか?

…ええ もちろん…

END